

# 平成16年度 社会厚生常任委員会行政視察報告書

平成16年11月24日

1. 日時 平成16年10月19日～10月21日
2. 視察先 京都府向日市（むこうし）  
石川県松任市（まっとうし）
3. 視察事項 向日市 「ごみの分別収集と資源リサイクル対策の  
取り組みについて」  
松任市 「市民の健康増進施策について」
4. 参加者 9名  
委員 安中 弘麿 山田 義栄 藤原  
田沢 弘一 安中 利男  
大関 勝正 安武 秀敏  
関 龍雄  
当局 環境課参事 青木 敏男  
随員 議会事務局次長 難波 信一

## 向日市

### [市の概要]

京都盆地の西南部に位置し、三方を京都市に接し、市全域が、最寄り駅からほぼ2 km内という交通至便の地で、住宅都市の性格が強い。奈良・平城京から長岡京へ遷都された、784年（延暦3年）から10年間は当時の日本の中心として栄えた。

人口52,848人、市域面積7.67 km<sup>2</sup> の西日本一コンパクトな都市で、人口密度が京都府内で第1位となっている。

交通網は市中心部から東部にかけての平坦地1 km余りの間にJR東海道本線（向日町駅）、JR東海道新幹線、阪急電鉄（東向日・西向日駅）、名神高速道路、国道171号線などが集中し工場やロードサイド店の進出が目立っている。

市の特産品「竹」を活用した文化の創造を目指している。

### [事業の概要]

向日市第4次総合計画に掲げる「快適な環境とやすらぎのあるまちづくり」を具体化するため、向日市の目指すべき環境像と、それを達成するための長期的な目標と施策の方向性を示す「向日

市環境計画」を策定、市や、市民、事業者、民間団体が一体となって環境配慮の取り組みを進めていくことを明確にした。

[計画がどのように進められているか]

1. みんなが進めるべき取り組み

これまでの使い捨てるの概念を捨て、ごみも資源という認識をはっきりと持つとともに、日常生活や社会活動のあらゆる場面で、ごみの減量化・資源の再使用・リサイクルを実践し循環型社会形成に向けた取り組みを進める。

2. 私たちにできること

資源リサイクルがしやすいよう、ごみの分別を徹底する。

詰め替え製品を利用して、容器類を何度も使うよう、心がける。

3. 私たちがしなければならないこと

資材の再利用、再生資源の利用など、できる限りリサイクルに努める。

等々を向日市環境基本計画第1項「循環型社会の形成」として提言、市民・事業所・行政が一丸となって取り組んでいる。

[ごみ処理施設・リサイクル施設等]

向日市、長岡京市及び大山崎町三市町により、昭和39年6月、広域組合乙訓(おとくに)環境衛生組合が組織された。近年、生活様式の向上の中で生じる廃棄物は多種多様となり、適正処理が大きな課題となったために、ごみ処理施設、リサイクル施設プラスチック類処理施設、し尿処理施設及び最終処分場を建設平成14年4月から供用を開始した。

施設 ごみ焼却施設・ごみ処理設備

リサイクルプラザ

1. ごみの資源化～粗大ごみから、鉄・アルミ等の資源化物を回収、缶・びん類は、選別設備により、又ペットボトル減容設備により処理したのち資源化再利用を図っている。

2. 各種工房の設置～再利用可能な廃棄物の再生を目的とした、ガラス・自転車・家具の各工房の設置、再生品等の展示スペース等が設けられている。

## 松任市

### [市の概要]

石川県の中央に位置し、西は日本海に面し、金沢市・美川町等5市町に接し、霊峰白山の豊富な水と拓かれた大地に恵まれている。大規模住宅団地の造成のほか市街地の近代化、工場などの立地があいつぎ、市勢は順調に伸展している。人口68,103人  
製造品出荷額3,550億円

また、第4次総合計画の将来像は「人・まち・自然感性きらめく市民都市」と定め、自然への慈しみの心や拓かれた大地の歴史と資源を継承し、個性を育みながら、市民と行政との協働・連携を基調として、新時代にふさわしい、魅力的なまちづくりを目指している。

### [事業の概要]

近年、生活環境の改善や医学の進歩に伴い、急速に長寿化が進む一方、生活習慣病や痴呆や、ねたきりなどの増加が大きな社会問題となっている。特に、少子高齢社会においては、これらを支える人々の負担の増大が懸念され、これまでも増して、市民の健康づくりに対する取り組みが重要課題になってきた。

そのために、市民一人ひとりが体力の増進を図る。日頃の生活の中でゆとりと生きがいを持って、文化的な心を育む。社会全体として、市民の主体的な心身の健康づくりを支援する。

よって、すべての市民が健康で心豊かな生涯を送ることを願い平成14年3月「感性あふれる文化都市・松任市」の明るい未来に向かって、積極的に市民の健康づくりに取り組むことを誓い「健康文化都市まっとう」を宣言した。

### [健康文化都市宣言をうけて、どのように取り組んでいるか]

| 基本方針(活動目標)      | 活動目標の指針   |
|-----------------|---|
| 1. 健康的な生活習慣の形成  | ・健康意識の高揚、動機づけ<br>・疾病にならないところがけ                                      |
| 2. 健康を支援する環境づくり | ・個人の意欲を高め、楽しく行う健康指導<br>・気軽に利用できる施設等の整備<br>・親しみやすく、楽しんで参加できるソフト事業の展開 |

### 3. 仲間づくり

#### ・メンバーの充実

- ・継続するための、楽しみや、一緒に行う仲間づくり
- ・多種多様な運動・スポーツ、趣味の同好会やクラブの育成
- ・社会参加・生涯学習・ボランティア等の生きがい活動

#### [市民健康づくり対策課主要事業概要]

1. けんこう・まっとう大学の開催
2. 健康実感体験塾の開催
3. 健恋う会の開催
4. 足の裏健康教室の開催
5. 大学と連携した健康増進事業
6. 健康いきいき招待席の開催

#### [所見]

##### 向日市

大量廃棄社会から資源循環型社会に変えるために、国は行政・事業者・消費者の責務などを定めた基本法を施行した。向日市にあっては、昭和39年、環境衛生組合を組織した時点からの早い取り組みで、ごみの発生の抑制、再使用、再利用の促進等、大きな成果を上げている。処理施設も一新、特にリサイクルプラザ施設整備は評価に値するものであった。

ごみ処理やリサイクルのためのエネルギー費用等、自治体の費用負担の増大が、あらたな問題となっている。

##### 松任市

平成12年、国民健康づくり運動の展開をうけて、「健康文化都市まっとう」を宣言、病気を治す医療から、病気にならない様にする医療への転換を図るための施策を進めている。

高齢者の健康維持、生活習慣病の予防等、日常の課題として、市民一人ひとりが関心を持って取り組むことができるか、様々工夫をしていることを、伺い知ることができた。